

まちづくり交付金 事後評価シート
古高松地区

平成20年3月

香川県高松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県	市町村名	高松市	地区名	古高松地区
計画期間	平成17年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成17年度～平成19年度		
モニタリング実施時期	実施しない	事後評価実施時期	平成19年4月から平成19年12月	フォローアップ実施時期	平成20年5月

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	耐震性貯水槽設置, 古高松コミュニティセンター整備, 消防屯所整備, 小学校防犯カメラ設置, 中学校屋内運動場床改修, 小学校校舎耐震診断
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	道路拡幅(88・89号線, 延長400m→76号線, 延長100m), JR屋島駅前駐輪場整備(整備規模の縮小), 地域子育てひろば(取止め), 避難施設案内看板整備事業(6箇所→5箇所), 地域ふれあいウォークルート表示整備事業(20箇所→10箇所), 古高松保健ステーション整備事業(追加), 安全で安心なまちづくり事業(取止め)
	変更した理由, 目標・数値 指標への影響等	道路拡幅(施行箇所の見直しによる), JR屋島駅前駐輪場整備(地権者との協議が整わなかったため), 地域子育てひろば(近隣他施設を活用するため), 避難施設案内看板整備事業(施行箇所の見直しによる), 地域ふれあいウォークルート表示整備事業(施行箇所の見直しによる), 古高松保健ステーション整備事業(地域保健福祉活動の充実を図るため), 安全で安心なまちづくり事業(地域住民による防犯防災活動が充実しているため)

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		達成度			達成見込みの有無		効果発現要因
	単位	モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見	
指標1	コミュニティセンターの利用者数	人/年	△	×			●	コミュニティセンターは従前から十分利用されていたため利用者数は増加しなかったが, 地域住民によるまちづくり活動としての利用件数および利用者数は着実に増加していることが確認できた。
指標2	自主防災組織の結成率	世帯(%)	△	○			●	古高松地区コミュニティ協議会が行った自主防災活動(防災ビデオ, 防災マップ, 防災訓練等), ならびに避難施設案内看板整備事業および消防屯所整備事業をはじめとしたハード施設を整備することにより, 地域住民の防災意識が向上した。
指標3	街頭犯罪の発生件数	件/年	△	△			●	古高松地区コミュニティ協議会が行った自主防災活動(防犯パトロール等), ならびに小学校防犯カメラ設置事業および防犯灯整備事業をはじめとしたハード施設を整備することにより, 地域住民の防犯意識が向上し, 街頭犯罪の減少に繋がったが, 目標の達成には至らなかった。

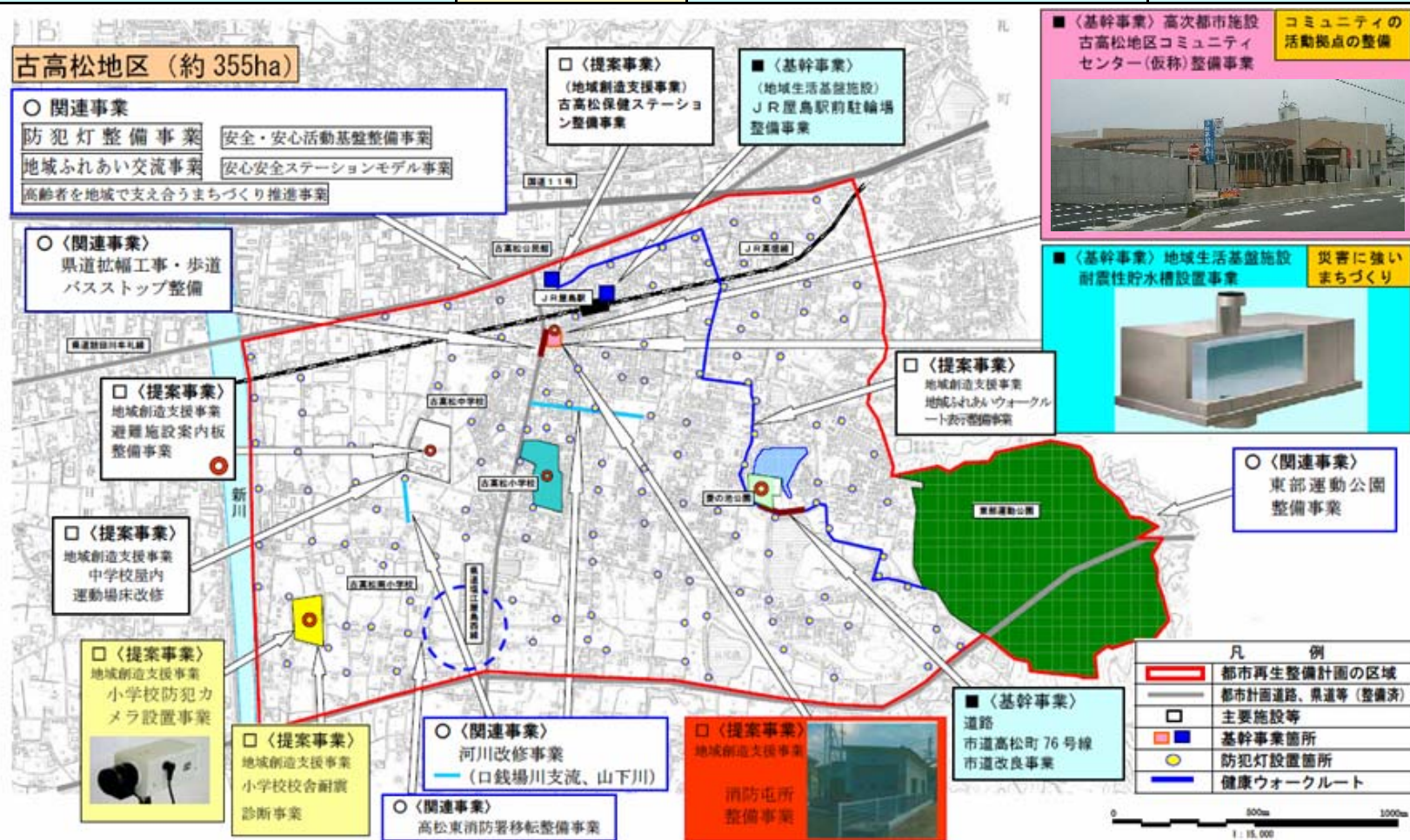
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		数値			効果発現要因
	単位	基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見		
その他の数値指標1	古高松地区コミュニティ協議会による古高松コミュニティセンター利用件数および利用者数	件(人)	38(552)	17	△	41(719)	●	古高松コミュニティセンターをはじめとしたハード施設を整備することにより, 地域住民のまちづくり活動に対する意識が向上した。なお, センター整備段階においては地域住民によるワークショップが開催され, 整備構想づくりに取り組んだこともまちづくり活動の意識向上に寄与している。
その他の数値指標2	不審者情報数	件	13	17	△	10	●	古高松地区コミュニティ協議会等が防犯パトロール等を実施したことから, 犯罪発生件数および不審者情報数が減少し, 地域住民の防犯意識が向上した。

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ○住民のまちづくりに対する意欲が大きく向上し, 協議会を中心として行政との協力関係が強化された。 ○協議会が今後の継続的なまちづくり活動の指針として「安全安心のまちづくり」をテーマとしたコミュニティプランを策定した。 ○協議会が自主防災活動啓発ビデオ, 防災マップを作成するとともに, 防災資機材を調べて防災訓練を実施し, 災害に強いまちづくりに努めた。 ○協議会が防犯用品を調べ, 防犯パトロールを実施し, 犯罪に強いまちづくりに努めた。 ○古高松コミュニティセンターにオープンスペースを設置したこと等により, 地域住民が気軽に訪れやすくなり, 入館者数が増加した。
-------------------------	--

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング			<ul style="list-style-type: none"> ○ 予定どおり実施できた ○ 予定していなかったが実施した ○ 予定したが実施しなかった・できなかった 		
住民参加プロセス	古高松コミュニティセンターの整備にあたり, 設計段階から地域住民の意見を取り入れるため, 古高松地区コミュニティ協議会がワークショップ等を実施した。	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予定どおり実施できた ○ 予定していなかったが実施した ○ 予定したが実施しなかった・できなかった 		下笠居コミュニティセンターを整備する際にこの手法を取り入れたほか, 今後他の地区においても同様に取り入れてたい。	
持続的なまちづくり	古高松地区コミュニティ協議会の活性化および同協議会によるコミュニティプランの策定	●	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予定どおり構築できた ○ 予定していなかったが構築した ○ 予定したが構築しなかった・できなかった 		古高松地区コミュニティ協議会によるまちづくり活動の活性化を更に支援するため, ホームページや地域SNSによる情報発信等を支援する。	

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

古高松地区(香川県高松市) まちづくり交付金の成果概要			
まちづくりの目標	「地域みずからのまちづくり」の推進	まちづくり交付金の代表的成果	古高松地区コミュニティ協議会による古高松コミュニティセンター利用件数および利用者数(件(人))
			自主防災組織の結成率(世帯(%))
			不審者情報数(件)
			-(-)→38件(552人)(H17)→41件(719人)(H19)
			-(-)→1,709世帯(53.3%)(H17)→2,909世帯(92.2%)(H19)
			-(-)→13件/年(H17)→10件/年(H19)



今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>地域住民による持続的なまちづくり活動の支援</p> <p>古高松地区コミュニティ協議会によるまちづくり活動のさらなる活性化を図るため、ホームページおよび地域SNSによる情報発信の支援を行うとともに、高松市における地域コミュニティ組織により構成される高松市地域コミュニティ協議会連絡会において地域コミュニティ組織の自立促進および活動促進の手法について研究する。</p> <p>防犯活動の効果を高めるため、警察等関係機関との連携を強化する。</p>
-------------------------	--